

3人4脚



R 4. 7/1(金) 第4号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

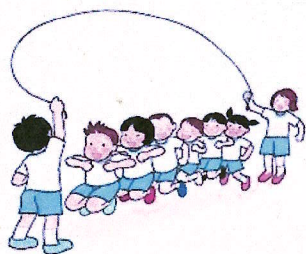
全クラスが表彰状を手にすることができました!!

～子どもたちは仲間とのふれ合いの中で多くの大切なことを学んだに違いありません。～

心配された雨が降ることなく、薄曇りの6/11(土)。無事に体育祭を行うことができました。開会式では、3年生6名による選手宣誓に感激しました。全員が気持ちを込めた大きな声を出ししっかりと宣誓していました。

台風の日では4人グループの全員が心をひとつに競技に取り組んでいました。見ごたえのある素晴らしい競技が展開されていました。また、みんなでリレーや選抜リレーでは全員が自分の持っている力をしっかりと発揮し意地のある走りを見せてくれました。

生徒たちは、クラスの仲間、そして色別の仲間と心をひとつにし、自分が出場するすべての種目に全力で取り組むとともに、出場しないときは、自分の仲間の応援にも全力で取り組んでいました。また、競技中の放送委員のアナウンスが実に素晴らしかったです。さらに、競技終了後の結果発表に対して、応援席からしっかりと拍手が贈られていました。どの種目でも、出場している仲間に向けて常に温かい拍手がありました。



みんなでジャンプは、どのクラスも、大きな声を互いにかけて、集中して跳んでいました。結果より過程を・・・生徒たちは、心をひとつにして本当によくやっていました。

最後の閉会式に対して、全員がしっかりとした態度で臨むことができました。特に体育委員長のことばを聞く生徒たちの態度には感激しました。生徒たちは、自分の出る競技では一生懸命に走り・跳び、応援では選手を盛り上げ、最高の時間を過ごしていました。

全クラスが何らかの表彰状を手にすることができました。嬉しい限りです・・・子どもたちは仲間とのふれ合いの中で多くの大切なことを学んだに違いありません。さあ、次は秋麗祭です。この頑張りが秋麗祭でも発揮される・・・そう私は信じています。

夏休みまでの出席日数・・・あと 12 日!!

～反省なくして進歩なし・・・今一度お子さんの取り組みをご確認ください。～

暑い日が続いていますが、早いもので、1学期に学校に来るのもあと12日となった今、お子さんの様子はいかがでしょうか・・・いくつかの教科で期末テストの間違い直しの課題が出されていますが、この間違い直しを自主的に取り組むか・取り組まないか、あるいは課題をやるか。それらの差は大きいと思います。まさしく「反省なくして進歩なし」です。今一度お子さんの取り組みを確認してみてください。

期末テストが終了してからすでに1週間が過ぎ、子どもたちは部活動に一生懸命取り組んでいます。先週の6/24(金)は壮行会が行われました・・・3年生にとっては中学校最後の大会となります。「練習は裏切

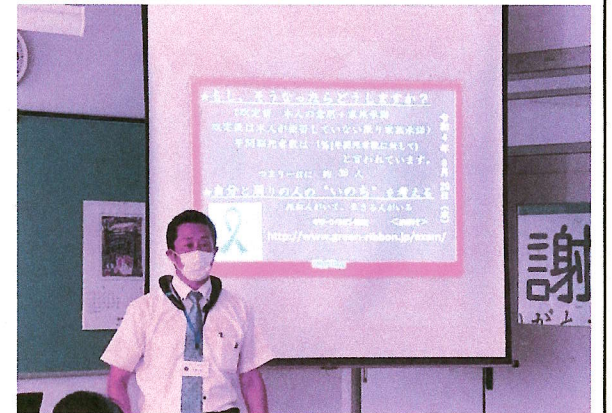


らない」ことを信じ、さらに一層熱心に練習に取り組むとともに、その姿を後輩たちに見せることにより、より良い部活動を目指してほしいと思います。

いのちについて常に考え続けられる人になって欲しい

～自らの「いのち」の考えをより一層深める学習に取り組んでいます。～

今年度も昨年度に引き続き2年生を対象に「本当に伝えたい!! いのちの授業 ～臓器移植から考える～」を展開しています。この授業は5時間扱いで計画されています。まず、事前学習を6/28(火)に和田が講師として行いました。2・3時間目は東京学芸大学附属国際中等教育学校保健体育科教諭の佐藤毅先生が6/29(水)に来校され講師として行いました。4時間目の事後学習は、7/5(火)に各クラスの担任の先生が各教室で行います。さらに最後の授業として7/12(火)に心臓移植を体験された森原先生による講演会を予定しています。



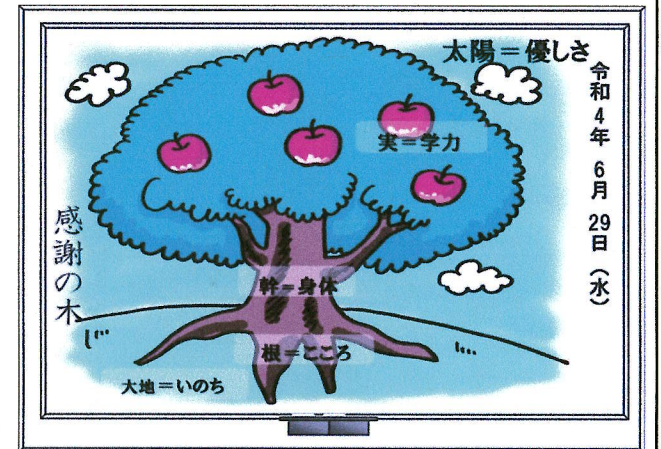
6/28(火)の事前学習では、アニメの視聴・ワークシートへの記入を通じて「生きるとは?」「献血、骨髄移植、移植医療」等について考え続けました。生徒たちは真剣に「いのちの授業」に取り組んでいました。『臓器移植を考える。ではなく、臓器移植を通じていのちを考える。』の視点で自らのいのちの考えを深めて欲しいと伝えました。

右上の写真は、6/29(火)に行われた授業の様子です。「本当に伝えたい!! いのちの授業 ～臓器移植から考える～」の授業を行いました。当初は体育館で全学年一斉に行う予定でしたが、熱中症対策として3コマに分けオンラインで行いました。ただ、3コマのうち1コマは講師の先生から直接話を聴けるようにクラスごとに特設配信室に移動して講演を聴けるようにしました。佐藤毅先生は40枚ものスライドを準備され、自らの体験やお子さんの話を織り交ぜながら生徒たちにやさしく語りかけるように授業を展開されました。

佐藤先生は「いのちについて常に考え続けられる人になって欲しい」という想いを生徒たちに熱く伝えてくれました。私は「自分を大切にすることは他人も大切にできる」「いのちについて心の中でしっかりと考え、あたためて今後の人生に役立ててください」という佐藤先生のメッセージが大変印象に残りました。

先生の話聴く2年生の態度が実に素晴らしかったです。いのちに対して真剣に向き合っているからこそ自然とこのような態度がとれたのだと感じました。授業の最後には学年代表の村西さんから佐藤先生へのお礼のことばがありました。さらにその後、全学年の生徒より大きな拍手と『イイね!』が佐藤先生に送られました。

7/5(火)の事後学習は、今まで学んできたこと、そして考えてきたことをベースに家族の人たちと話し合い「家族と話そうシート」に書き込んだものを班の仲間と話し合い、自らの「いのち」の考えをより一層深める学習に取り組めます。



今年度の水泳教室は中止にしました。中学校では学年全体での実施となり、実習中および更衣室での生徒間の距離の確保が非常に厳しいです。ただし、水難事故防止につきましては、保健体育の授業で「水辺の安全教室 E-learning 教材」を活用し指導いたします・・・今現在もコロナ禍で気が抜けない日々が続いています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。